

③ 排泄ケア

高齢や疾患により食事や水分摂取量が減少し、筋力の低下により排便機能が衰え、便秘や下痢が発生しやすくなります。排泄が適切に行われないと不眠やさらなる食欲低下を引き起こす可能性があります。そのため、必要に応じて食事や水分量の見直し、下剤調整、腹部マッサージ、浣腸、敵便を行います。



④ 清潔ケア

高齢になると皮膚のバリア機能が弱まり、皮膚トラブルが起こりやすくなります。在宅では特に乾燥や便・尿によるかぶれ、褥瘡（床ずれ）が問題となります。これらの予防や改善に有効なスキンケアポイントは3つ。

「洗浄・保湿・保護」

洗浄によって清潔を保ち、保湿剤を用いて保湿&保護！皮膚のバリア機能を維持することで、皮膚トラブルを予防します。



⑤ 寝たきり・褥瘡（床ずれ）予防

寝たきりになると、同じ部位が長時間圧迫されることで血流が悪くなり、床ずれが起こりやすくなります。通常、睡眠時は無意識に体位を変えることで床ずれを防ぎますが、体力が低下するとこれが難しくなります。訪問看護では、ケアマネージャーや医師と連携し、エアマットや自動体位変換マットの導入を検討し、圧迫を軽減します。既に床ずれが発生している場合には、処置を行い、ご家族にも処置が可能であれば指導して治癒を目指します。



ケアーズ訪問看護
リハビリステーション橋本

TEL : 042-700-0024

〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本1-27-12
日本医薬会館2F

FAX : 042-700-0019

✉ info@kango-rehabili.com